

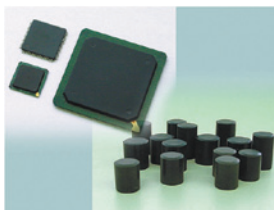
日本の知恵、  
プラスチックの知恵

## 茶人の織部が愛でた、 薫りの形物香合

初釜は、振袖姿の女性も客人となる、新年の華やかな茶席。最初に、炬をあらためる「炭手前」では香が炷たかれますが、客人を楽しませるのは薫りだけでなく、それを納める小さな容器の香合。陶磁器や漆芸品などさまざまな種類があり、茶席を主宰する亭主の好みやセンスを知るひとつにもなります。

この香合の創作に取り組んだのは、利休七哲といわれた茶人の古田織部。慶長年間(1596-1614)には、各地の窯元で織部や志野、信楽などの香合が競うようにつくられました。こうした人気は「形物香合相撲」など、番付表が発行されるほどになりました。収集の対象にもなった香合は、本来は香木などを湿気から護り、繊細な薫りも保たせる手のひらに収まるほどの蓋物。

その機能と汎用性は、住友ベークライトのEMシリーズにも似ています。外部環境からデリケートな半導体を護る機能が高く評価されているのは、環境対応型半導体封止用エポキシ樹脂成形材料「スミコン」<sup>®</sup> EME-IGシリーズは、湿気や衝撃に強く、高い実装性と信頼性があり、デジタル家電や車などさまざまな暮らしの進化に貢献しています。



半導体封止用 エポキシ樹脂成形材料  
スミコン<sup>®</sup> EME



# 香合



プラスチックのパイオニア

 住友ベークライト株式会社

情報通信材料営業本部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル  
TEL:03-5462-4264 FAX:03-5462-0000 <http://www.sumibe.co.jp>